令和6年度 第3回 阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 令和7年3月26日（水）午後2時00分～午後3時00分

場 所 阿賀野市役所 403会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

(1) 阿賀野市地域公共交通協議会規約の一部改正について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。

(2) 阿賀野市 AI オンデマンドバス運行事業の中間報告について

○次のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

(委員からの意見)

日頃、相談支援事業を行っていて障がい者の方から、「AI オンデマンドバスの予約が取れない」という意見が多いが、どうして予約が取りづらいのか。

(阿賀野市 社会福祉課長 高橋 正人 委員)

データを見ると、朝夕の通勤時間帯に予約が集中しており、その時間帯の予約は取りづらくなっている。10月から5か月間運行しているが、その間、運行経路時間に関わる内部パラメータなどを調整することで、より効率的な運行を目指し、お断り率が改善するような取り組みを行っている。4月以降も予約がより取れるような仕組みを作っていく。

(事務局 成海)

運行車両の空車率、満員率などのキャパシティについては把握しながら運行しているか？

(阿賀野市 市長 加藤 博幸 会長)

随時確認しながら運行している。相乗りが増え、より効率的に運行できるように仕組みづくりを行っていきたい。

(事務局 成海)

説明資料に、1日平均利用者数の目標が96.8人、実数値が72.1人とあるが、実数値が目標を下回った理由はどこにあると認識しているか？

(阿賀野市 市長 加藤 博幸 会長)

まず、目標値については前年度の水準から2割増を見込んで高めに設定されたものである。移行前の9月と移行後の10月を比較すると乗車人数の推移は緩やかであり、既存の利用者のAIオンデマンドバスへの移行という面では現状維持は出来たと考えている。一方で、周知不足などもあり利用者増まではいかなかった。

また、昨年同月の廃止5路線と比べて乗車数が減った要因としては、路線を通学で利用していた子供たちが、学校教育課のスクールバスに移行したことも要因として上げられる。

(事務局 成海)

令和7年2月28日時点の登録者数が614人とあるが、この登録者数をどう評価しているか。

(有限会社白鳥タクシー 業務課長 佐藤 誠 委員代理)

登録者数の目標は設定していなかったが、利用状況からするとさらに多くの方が登録していただけるように周知する必要があると受け止めている。自治会での説明、スマホ教室での予約体験会、免許返納支援制度を絡めたPRなど、幅広く登録を促していければと考えている。

(事務局 成海)

時間帯による利用者数の違いはあるか。

(有限会社白鳥タクシー 業務課長 佐藤 誠 委員代理)

本日用意した資料の中には無かったため、後日議事録とともに時間帯別の利用者データを送付させていただく。

(事務局 成海)

現在、五泉市でもデマンド方式の交通を運営しており、将来的にはWebやスマホからの予約手段を追加することを検討しているが、そうした予約方法の良い点悪い点、また高齢者層への普及について工夫などあれば聞かせてほしい。

(五泉市 企画政策課 主査 井上 和巳 委員代理)

まず、令和5年度に実証実験という形でオンデマンドバスを運行した際には電話のみだった。それから令和6年度にWeb・スマホ予約を追加した形で本格運行となったが、Web・スマホ予約をしていただけると事務量が軽減されると感じた。

予想通り高齢者の方は電話からの予約が多い。電話予約とWeb・スマホ予約を比較した際に、条件を同じにしてみると、Web・スマホ予約が24時間受付ということもあり、電話中心の高齢者の方が予約を取りづらくなってしまうことが念頭にあったため、電話予約は7日後まで、Web予約は2日後までという差をつけている。実際運行する中で、Web予約でも7日後まで予約できるようにしてほしいという声もあり、様々な形を模索している。

(事務局 成海)